

# 行政視察報告書

令和4年1月10日

長浜市議会議員 草野 豊 様

長浜市議会議員 伊藤 喜久雄

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 令和3年度 会派「恵風会」行政視察
2. 視察期間 令和4年1月6日（木）
3. 視察場所及び目的  
①滋賀県東近江市「箕川未来協議会の活動内容」

## 4. 調査内容感想等

### ・視察の目的

高齢化率が9割近い東近江市奥永源寺地域箕川町の「箕川未来協議会」の「空き家を活用したホテルづくり」を学ぶ（きっかけ、手法など）

### ・視察の内容

（「箕川未来協議会」事務局の井上慎也さんからレクチャを受ける）

箕川町の人口は16人で、65歳以上が14人、75歳以上に限ると8人。「山に囲まれ、人工的な音が聞こえない、景観もいい」が、このまま何もしなければ、町がなくなってしまうという危機感からスタート。

先ずは、2020年8月、住民有志による兵庫県丹波篠山市での古民家を活用したホテルを視察したことが始まり。

近くの政所町で東近江市が同様の構想を描いていることもあり「自分たちにでき

ることをやろう」と、昨年2月に住民ら10人ほどで任意団体「箕川みらい協議会」を立ち上げられた。

数回開催の会議では、活動のための予算（資金確保）をどうするかが議論され、環境省の補助事業（地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業）が採択されたことが弾みになったと。その後、東近江市の「東近江市コミュニティビジネススタートアップ支援事業」などにも申請され、現在、その活動の広がりが注目されています。

古民家改修によるホテル事業は2023年4月の開業をめざし、浄化槽の設置など改修費用は最低でも1千万円。東近江三方よし基金や、滋賀県立大学の連携などで資金や人材の確保を目指されている。

・視察の結果を本市にどのように反映させるのか

地域の過疎や高齢化は、長浜市でも深刻な課題ではありますが、その対策にあたっては、誰が主体となって取り組むのか。行政の役割、地域（地域づくり協議会）、市民活動団体などありますが、中心となって組織をまとめる人材（ヒト）の存在がカギとなります。箕川未来協議会の井上さん（京都出身）のような人材の確保や、活動を支える資金援助など行政の関わり方を学びました。課題があっても「一步を踏み出す」ことが市民協働のスタートであり、今回の事例を参考に、中身のともなう長浜市の市民協働の今後の方向性、実効性について考えていきたいと思えます。